

35人以下学級拡充の 取り組み検討の結果は 対象の鶴飼小と第二小は 少人数指導を選択



日本共産党
武田 猛見議員

問 ①県教委は、少人数学級を25年度は3年生まで、26年度は4年生まで引き上げるつもりでしたが本村ではどうか。

答 ①小中連携事業が今年で3年目になるが、効果と同時に問題点もあると聞くがその対応策は。

切と捉えています。

TPP参加は農業だけでなく地域経済も破壊

問 ①政府は、TPP参加を決めたがその影響額と村長も反対の声を上げるべきではないか。

答 ①本村での2校には、少人数指導を選択しました。理由は、算数などできめ細やかな指導の充実が必要なことからです。

②小中連携は、今年で3年目となり4点の成果がありました。が、会議などの日程調整に多くの時間を要するなど年間計画の段階での工夫が大

②自民党は、10年間で「農家所得倍増計画」を打ち出したがどう捉えるか。

③地域農業マスタープランを作れない地域はどうなるのか。

答 ①影響額は、米と生乳で23億5千万円、村長としては、そのことで影響を受けるのであれば反対していきます。



れています。政府は、今年度末に肉付け方針を出すとのことで、それを待つて対応します。

③マスタープランには、村が助言・指導を行っていきます。

介護保険から軽度者を切り離す方向に村は

問 ①要支援1と2の事業及び金額は。

②受け皿として村では対応できるのか。

答 ①通所介護や介護予防訪問、福祉用具の貸与などあり、額として9千300万円程になります。

②現在の予防給付を村で対応するには財源的には困難であると捉えています。

地域の臨時元交 付金事業の評価は 新たな財源確保に 繋がる



日本共産党
桜井 博義議員

問 地域の元交臨時交付金はどのような事業に充て、効果をどう判断しているのか。

答 日本経済に向けた緊急経済対策で、地方の公共投資の事業負担8割に交付され、本村は4億9千万になる。主に、県立大学産業集積整備事業、教育・文化施設の大規模改修等に予定しています。

問 この交付金によって一般会計の財源に振られることになりすが、その分の予算処置の考えは。

答 一般会計の圧縮に繋がるというよりも、これまで財源確保ができていない建設地方債相当

分と考える。

問 地域の元気づくり事業を推進する一方で地方公務員の給与カットは、地方分権に逆行するものですが、どう捉えているか。

答 これまでも行政改革を行い、職員を削減し、効率化を求めて給与制度も適正と考えますが、交付税を削減する国のやり方には不満です。

生活保護費 引き下げの影響は

問 今年8月から3年間に8%引き下げようとしています。が、保護費のみならず他の医療・福祉の負担に影響



答 国民の信頼に込める処置と考える。

に対してどう認識しているのか。

答 保育料、医療費の一部負担金、就学援助等に影響が生ずる。国からは「影響が及ばないように」としていますが、配慮が必要と考えます。

問 窓口対応では書類の義務、扶養者の厳格化にどう対応するか。

答 国民の信頼に込める処置と考える。

ガバメント2.0を 始める考えは 今後、調査研究する



柳村 一議員

問 住民がスマートフォンを使って政策決定に簡単に参加できるアプリや、公共サービスの担い手になってもらうアプリなどが次々と開発され、インターネットを駆使して住民の力を最大限に活用し、低コストでも充実したサービスの試みが始まっています。

答 ガバメント2.0は、アメリカのICT関連企業が最新の技術を活用し、市民が行政に声を届け、市民と行

政が協力して社会を変えていくことで、公共・行政サービスの質が向上されると提唱し、欧米を中心に普及・活用されています。

学校教育への新体制での取組は

問 熊谷教育長が就任し、教育委員会が新たな体制になりました。学校教育への取組をどのようにするのか伺います。

今後、情報通信技術を活用した取組は、さらに進展していく時代であり、スマートフォン等の保有比率も拡大することが見込まれるので、ガバメント2.0について調査研究していきます。

答 私は「教育は人なり」と考えています。

転入教職員辞令交付式で「滝沢の子どもを好きになってほしい」と話しました。さらに村内の全教職員に「滝沢という地域に愛着を持つてほしい。そして滝沢の子どもたちに愛情を持って接してほしい」「学校生活にとって最も大事なことは、子供たちが安心して生き生きと生活が送れるような学校・学級づくりをしてほしい」と話しました。

そのためは、正しいことが正しいと堂々と伝える正義が通る学校づくり、児童生徒と教職員、教職員と保護者が信頼し合い、地域と一緒に取組む学校づくりが大切と考え、学力向上や豊かな心の育成を図っていきます。

無届け工事を無くし 埋蔵文化財守るには 無届け工事反省し 二重チェックを構築



新志会
高橋 盛佳議員

問 埋蔵文化財包蔵地における無届けの村道修繕・改良工事実施について、①どういう事情で起きたのか。②今後の対処はどうか。

答 ①今回、事前協議から工事請負契約までの期間が長期となったことによる届け出の失念により、無届け工事となったことを心からお詫びします。

②今後は、教育委員会事務局と連携し、事業担当課と全体を管理する部署の両面から二重チェックの仕組みの構築を検討

し、再発を防ぎます。

自治基本条例策定の 進捗状況は

問 「滝沢市自治基本条例案」作成の進め方はどうなっているか。

答 7月から9月までの期間で全30自治会との村政懇談会を開催し、素案の説明と更なる周知、意見をもらう場を設けます。その後、パブリックコメントを実施し、寄せられた意見を反映した本案を確定し12月議会に上程します。議決後、パンフレットを全世帯に配布し、理解と周知を図り、来年4月1日に施行する予定です。

新教育長の教育方針は

問 新教育長は、命と心の復興教育に取り組むというが、福島県会津若松市の「あいづつこ宣言」(別掲)のように、滝沢村でも、全ての学校で共通した心の教育や道徳指導の考えは。

答 正しいことを正しいと言えるような学校をつくり、「正義」を大切に子どもを育てる教育をめざします。

会津若松市の 『あいづつこ宣言』

- 一 人をいたわります
 - 二 ありがとうごめんなさいを言います
 - 三 がまんをします
 - 四 卑怯なふるまいをしません
 - 五 会津を誇り年上を敬います
 - 六 夢に向かってがんばります
- やっつはならぬ
やらねばならぬ
ならぬことは
ならぬものです